

村民の皆様へ年末年始を迎えるにあたってのお願い

令和2年12月24日
木祖村長 唐澤一寛

まもなく年末年始を迎えます。いつもであれば、普段なかなか会うことができない家族やご親戚、友人との親交を深める大切な時期ですが、現在、新型コロナウイルス感染症の第3波の真っ只中にあります。今後さらに感染拡大が続き、入院患者が増加した場合、医療提供体制に深刻な影響を与えるおそれがあります。医療を維持し、皆様の命と健康を守るために、これ以上の増加は何としても回避しなければなりません。

いま必要なのは、村民の皆様お一人ひとりの力です。新型コロナウイルス感染症の第3波を乗り越え、健やかな新年となるよう、改めて次の点についてご協力をお願いします。

I 感染拡大を防止するために

1 年末年始のお願い

- (1) 自分と大切な方を守るため、できるだけ同居のご家族で穏やかに年末年始をお過ごしください。
- (2) 人の流れを分散し、密になりやすい状況を避けるために、次の点などを心がけていただき、「分散化」、「小規模化」、「遠隔(リモート)化」にご協力をお願いします。
 - ① 年末年始の休日に加え、その前後でまとめて休み、休暇を分散化
 - ② 特に人の集中する正月三が日を避け、帰省や初詣を分散化
 - ③ 親しい人同士やご近所の集りも控え、会食や会合等を小規模化
 - ④ 情報通信機器を活用し、帰省や介護をリモート化

2 地域間の往来についてのお願い

- (1) 感染拡大地域への訪問※に当たっては、当該地域内における感染拡大防止に協力するためにも、訪問そのものを慎重に検討してください。
※直近1週間の人口10万人当たりの新規陽性者数が15.0人を上回る都道府県
(12月22日現在14都道府県が該当：北海道 群馬県 埼玉県 東京都 神奈川県 愛知県 京都府 大阪府 兵庫県 岡山県 広島県 高知県 福岡県 沖縄県)
- (2) 帰省については、事前にご家族で十分にご相談をお願いします。特に、感染拡大地域からの帰省や、高齢の方や基礎疾患のある方など重症化リスクの高い方が住まわれるお宅への帰省は、慎重に判断してください。

裏面もご覧ください

3 日常生活でのお願い

- (1) 日頃から健康観察を行い、風邪症状等がある場合は外出せず、ためらうことなく速やかにかかりつけ医等に相談・受診してください。高齢の方や基礎疾患のある方など重症化リスクの高い方は特にご協力をお願いします。
 - (2) 無症状でも人に感染させる可能性があります。10日以内に風邪症状等があった方は外出を控えるなど、人に感染させないための行動を徹底してください。
 - (3) 感染防止の3つの基本(身体的距離の確保、人込みの中でのマスク着用、手洗い、手指の消毒)など、基本的な感染防止策を徹底するとともに、寒い時期ではありますが、部屋の換気・加湿を適切に行ってください。
 - (4) 会食の際には、感染拡大予防ガイドラインを遵守している店舗を利用するとともに、次の5つのポイントを徹底してください。なお、家庭内や知人同士での会食においてもご注意ください。
 - ① 体調が悪い(10日以内に悪かった)場合は参加しない、させないこと。
 - ② 開始前と会食後に必ず手指消毒を行うこと。
 - ③ 人と直接・間接に接触しないこと(大皿料理、とり箸、お酌を避けるなど)。
 - ④ 飛沫を人や人の飲食物に飛ばさないこと(会話時はマスクを着用するなど)。
 - ⑤ こまめに換気すること。
- ※なお、お酒が入ると気が緩みがちになるため、十分ご注意ください。

4 事業者の皆様へのお願い

- (1) 業種別の感染拡大予防ガイドラインの遵守・徹底を改めてお願いします。
- (2) 従業員の皆様の休暇の分散取得や在宅勤務・テレワークの促進、体調不良時に休みやすい職場環境づくりにご協力をお願いします。

II 穏やかに年末年始を過ごすために

新型コロナウイルス感染症をきっかけとして差別や誹謗中傷が生まれ、苦しんでいる人がいます。また、誹謗中傷を恐れるあまり受診をためらうことは、重症化のリスクを高めるほか、さらなる感染の拡大を招きかねません。

お一人おひとりが「思いやり」の心を持ち「支えあい」の輪を広げ、感染された方やそのご家族、帰省者や旅行者をあたたく迎えてください。

新型コロナウイルス感染症によって今試されているのは、私たちの絆の強さです。そのためにも、ご家族や身近な方同士で電話やオンラインを活用しながら、いつも以上に連絡を取り合って、お互いを思いやり、励ましあう言葉を伝えてみませんか。また、この危機を乗り越えていくために、年末年始の過ごし方について、ご家族、職場や地域などそれぞれの単位で今一度話し合ってみてください。